

りさい
罹災証明書交付申請書

(宛先) 静岡市長

年 月 日

罹災原因	発生日	年 月 日	災害名称			
申請者住所 (住民票の住所)		〒 マンション・アパート名及び部屋番号:				
郵便が受け取れる住所 (避難先等)		〒 <input type="checkbox"/> 申請者住所と同じ場合は、レ点を付してください マンション・アパート名及び部屋番号:				
フリガナ					生年月日	
申請者氏名					明・大 昭・平	年 月 日
申請枚数		枚		電話番号		
被災家屋の所在地		<input type="checkbox"/> 申請者住所と同じ場合は、レ点を付してください 区 町 番 号 丁目 番地の				
家屋の種類	住家※	<input type="checkbox"/> 持家(造 階建て) <input type="checkbox"/> 借家(戸建・アパート) ※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のことをいう				
	非住家	<input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> その他()				
世帯構成		氏名	続柄	年齢	氏名	続柄 年齢
被害状況 (具体的に記入してください)		※ 浸水被害があった場合 浸水の深さ(<input type="checkbox"/> 床下浸水 <input type="checkbox"/> 床上浸水 _____cm)				
自己判定方式		罹災証明書交付申請にあたり、「自己判定方式」により申請することを希望します。 また、被害の程度について、「準半壊に至らない(一部損壊)」「損害割合が10%未満」の判定と決定されることについて同意します。 ※自己判定方式の詳細については裏面を御覧ください。				
		※同意される方は右の□に、レ点を付してください。 <input type="checkbox"/> 同意します (同意の場合は被害の程度がわかる写真を添付してください。)				

代理人による申請の場合は、裏面「委任状」も御記入ください。

(同一世帯の方が申請する場合は、委任状は不要です)

職員記入欄	区分	地震 ・ 水害 ・ 風害 ・ 液状化等の地盤被害										本人確認 <input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> 写真付住基カード <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> 在留カード <input type="checkbox"/> 障害者手帳 <input type="checkbox"/> 2点確認 <input type="checkbox"/> 保険証() <input type="checkbox"/> 共済組合員証 <input type="checkbox"/> 年金証書・手帳 <input type="checkbox"/> その他	
	住民コード	町名コード			調査実施日								
	構	棟番		枝番									
	家屋の種類	住家	非住家	罹災写真		有	無						
	被害判定	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	準半壊に至らない(一部損壊)	床上	床下	無被害			
	受付番号		入力		確認		交付		交付番号				

代理人による申請の場合は、申請者本人が、以下の「委任状」も御記入ください。

委任状			
私は、下記の代理人に罹災証明書の交付申請について委任します。			
年 月 日		申請者氏名	
		(署名または記名押印)	
		※代筆者氏名	
代理人住所 (住民票の住所)	〒		
フリガナ		生年月日	
代理人氏名		明・大・昭・平	年 月 日
申請者との関係		電話番号	

◎自己判定方式とは

・被害が軽微な場合に、①被災者（申請者）ご自身が撮影した写真等から被災した建物の被害状況が確認でき、②被害の程度が『準半壊に至らない（一部損壊）』（家屋全体の損害割合が10%未満）であることが確認でき、③その判定結果に同意いただける場合は、自己判定方式により罹災証明書交付申請をすることができます。

・通常の家屋被害認定調査を省略するため、比較的早く罹災証明書の交付が可能となります。

※ 現地調査（住家内部の調査等）の必要が生じた際には、調査をお願いすることがあります。